

大崎市民病院は こう変わります！

7月1日に外来診療が開始される大崎市民病院新本院の
医療機能についてご紹介します。

市民病院経営企画課市民病院開院準備室 ☎ 23-3311



「県北を支える基幹病院」へ

圏域約三十万人の
生命を支える

新本院が担う医療圏域は、大崎圏から「大崎・栗原圏」へと大きく広がります。

県内屈指の最新設備と高性能の医療機器を整備し、県北の人口約三十万人の生命を支える病院となります。県北の「地域完結型医療」を目指し地域の医療機関と連携強化

新本院は、地域の医療機関では対応が難しい、高度

専門医療を担い、地域の医療機関は、初期救急や慢性疾患の定期的な投薬、健康相談を行うなど、医療分担を図り、地域全体で切れ目のない医療を提供する「地域完結型医療」を目指します。

専門医の充実と最新の医療機器を整備

高度専門医療に対応するため、新しい診療科を増設し、より一層、専門医の充実を図ります。また、幅広

チーム医療を充実させるため

臓器別・疾患別にセンター制を採用

センター制となることで、次のようなメリットが生まれます。

患者中心の医療
内科と外科を往復する時間やわずらわしさを改善します。
高度なチーム医療
センター内で関連する診

療科間の緊密な連携が可能となり、一つのチームとして、一人の患者を内科・外科の医療スタッフが協力して診療します。
合理的・統一的な取り組み
診察から入院・リハビリ・再発防止まで、一人の患者のすべてが把握できます。

センター別診療科

センター	診療科
循環器センター	循環器内科・心臓血管外科
脳神経センター	神経内科・脳神経外科
呼吸器センター	呼吸器内科・呼吸器外科
周産期センター	小児科・産科
がんセンター	腫瘍内科・がん関連の診療科



4月5日に行われた新病院竣工式でのテープカット

センターの機能紹介

循環器センター

- ◎循環器内科
- ◎心臓血管外科

胸痛、背部痛、動悸、息切れなど、心臓に関わる胸部症状を来す疾患の診断と治療を担当します。

九月から、心臓血管外科が開心術（心臓を切り開いて、直視下で手術を行う手術法）を開始することで、県北では、循環器科と心臓

血管外科を開設する唯一の医療施設となり、行える治療の幅も各段に広がります。

例えば、狭心症、心筋梗塞などの治療が当院で完結できるようになり、弁膜症も多角的に診断や治療ができます。

担当医師からのひと言

循環器内科科長 岩淵 薫

心臓の開心術が可能となります。グローバルで繊細な高度医療、分かりやすい医療を心がけて行きたいと思います。



▲血管造影撮影装置

脳神経センター

- ◎神経内科
- ◎脳神経外科

神経内科は、髄膜炎などの感染症、てんかん、パーキンソン病などの変性疾患を最新の検査法で診断し薬で治療します。在宅治療を行っている神経難病患者の急変時対応なども積極的にを行います。

脳神経センターの最大の特徴は、最新技術を駆使した脳卒中治療です。脳塞栓症に対する血栓溶解療法に加え、カテーテル技術を用いる脳血管内治療のほか、神経内視鏡を用いて小さな傷口で行う脳内出血の除去などを積極的に行います。

脳神経外科科長 吉田 昌弘

わかりやすい説明をモットーにがんばっています。建物はかわっても丁寧な医療をかわらず継続いたします。



神経内科科長 清水 洋

県北で唯一、複数の神経内科常勤医がおります。急性・慢性疾患を問わず、専門性を発揮して治療にあたっております。



院長あいさつ

大崎市民病院院長
太田 耕造



県内の医療は、二次医療圏を単位に整備が進められております。当院は、大崎・栗原医療圏の基幹病院として位置付けられており、移転新築に伴い、医療機能が大きく充実します。しかしながら、大崎・栗原医療圏における医療資源には限りがあるほか、医師、看護師不足は依然として厳しい状況が続いています。そのため、限られた医療資源を有効かつ効率的に活用するためには、病院と地域の医療機関が、それぞれの役割を分担し、協力し合うことが求められています。

そこで、当院では、移転に併せて初診患者様の受け入れを原則紹介予約制とすることにしました。役割分担の視点から、最初に診療所を受診していただき、当院での診療が必要な患者様を紹介していただくことと、待ち時間の短縮を図られるよう受診日時の予約をしていただくことを組み合わせました。

皆様のご協力とご理解を賜り、新本院を支障なく運営してまいりますのでよろしくご支援ください。

担当医師からのひと言